

令和4年10月27日

海南市水道料金審議会 (第1回)

海南市水道部



1 審議会の位置づけ

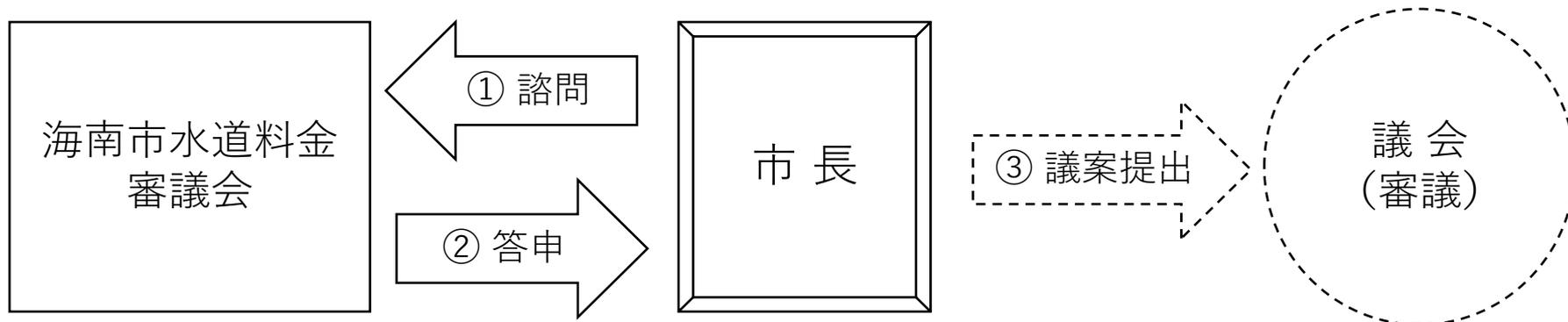
設置の根拠

海南市水道料金審議会条例

第1条 水道料金について審議するため、地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第14条の規定に基づき、海南市水道料金審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、水道事業の管理者の権限を行う市長（以下「管理者」という。）の諮問に応じ、水道料金に関する事項について調査審議する。

審議会の位置づけ

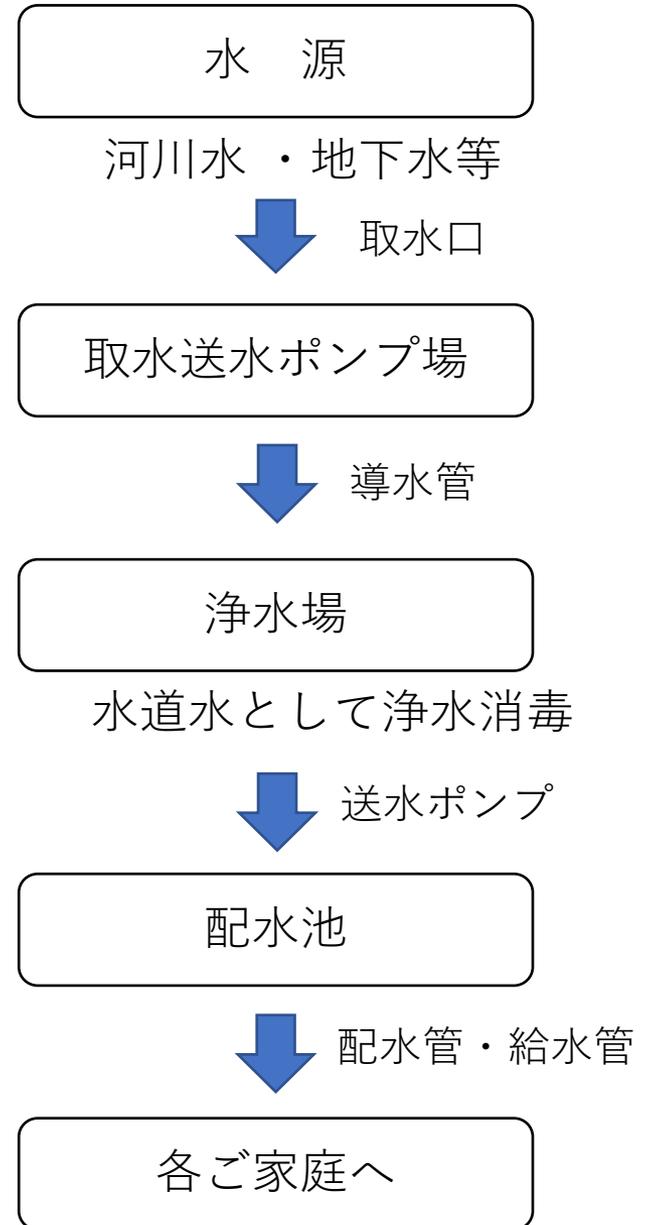
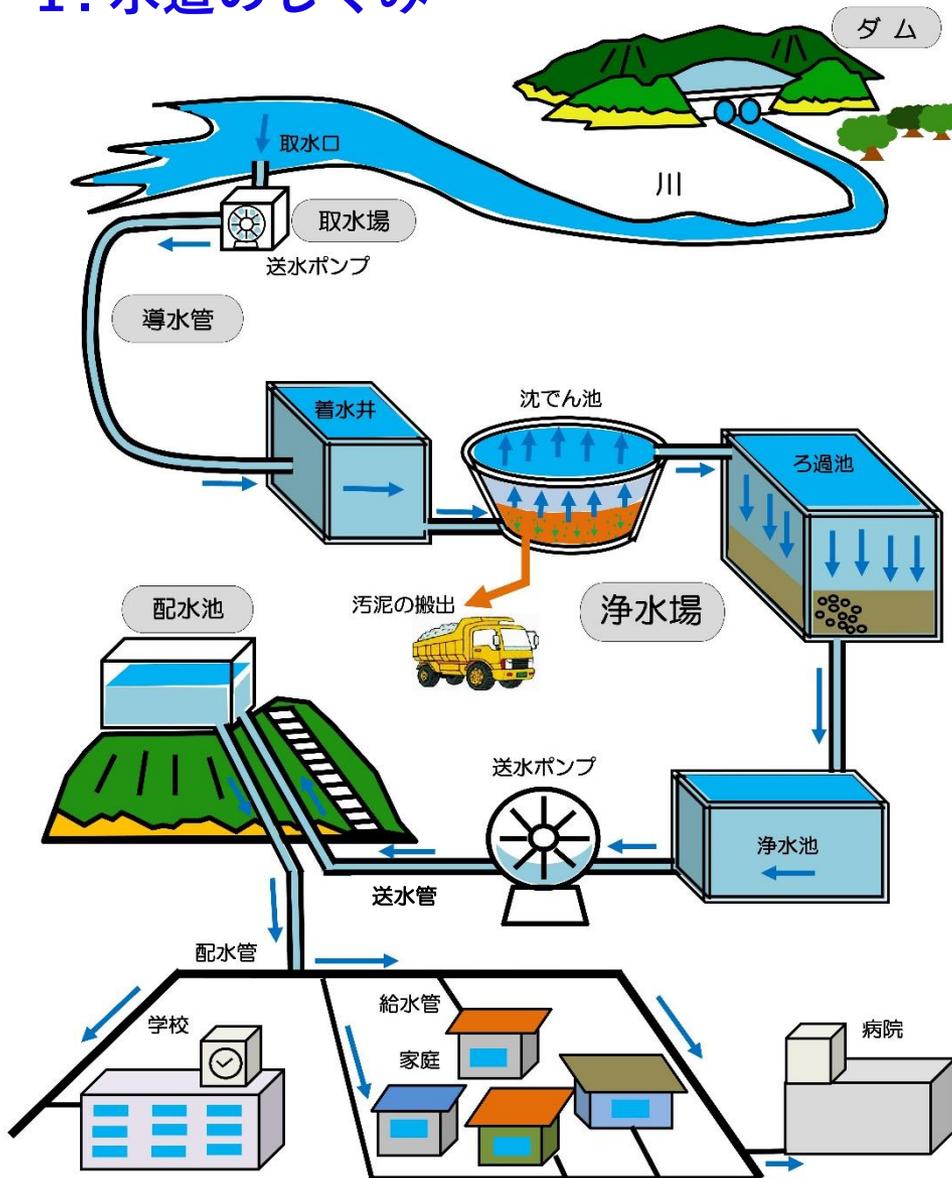


2 審議内容（予定）

回数	主な内容
第1回	<ul style="list-style-type: none">・市長から諮問・海南省水道事業の概要説明・室山浄水場の見学
第2回	<ul style="list-style-type: none">・海南省水道事業の現状と課題・海南省水道事業経営戦略の概要説明・水道料金、水道事業会計のしくみについて
第3回	<ul style="list-style-type: none">・財政シミュレーションの検討 （今後の事業計画・料金収入の見込み等）・料金水準の検討
第4回	<ul style="list-style-type: none">・料金体系の検討
第5回	<ul style="list-style-type: none">・答申（案）の検討
第6回	<ul style="list-style-type: none">・答申の決定・市長への答申

3 海南市水道事業の概要

1. 水道のしくみ



2. 水道施設の概要

2-1 水道施設位置図

海南市の水道施設の特徴は、紀の川を水源とする海南上水道と、有田川を水源とする下津上水道の2系統があることです。施設配置やそれぞれの施設系統を下図に示します。



- | | |
|--------------|-------------|
| ① …つつじヶ丘配水池 | ②⑤ …橋本配水池 |
| ② …且来配水池 | ②⑥ …曾根田配水池 |
| ③ …小野田配水池 | ②⑦ …土井原配水池 |
| ④ …室山第1・2配水池 | ②⑧ …松尾配水池 |
| ⑤ …大池配水池 | ②⑨ …上出配水池 |
| ⑥ …ニュー大谷配水池 | ②⑩ …興配水池 |
| ⑦ …大谷配水池 | ②⑪ …百垣内配水池 |
| ⑧ …伏山第1・2配水池 | ②⑫ …大窪配水池 |
| ⑨ …東部配水池 | ②⑬ …青枝配水池 |
| ⑩ …次ヶ谷配水池 | ②⑭ …沓掛配水池 |
| ⑪ …別所中区配水池 | ②⑮ …小畑第1配水池 |
| ⑫ …別所高区配水池 | ②⑯ …小畑第2配水池 |
| ⑬ …扱沢配水池 | ②⑰ …小畑第3配水池 |
| ⑭ …東畑低区配水池 | ②⑱ …下津配水池 |
| ⑮ …東畑高区配水池 | ②⑲ …鱒川配水池 |
| ⑯ …ひや水低区配水池 | ②⑳ …大崎配水池 |
| ⑰ …ひや水中区配水池 | ②㉑ …潮見台配水池 |
| ⑱ …海老谷低区配水池 | ②㉒ …加茂配水池 |
| ⑲ …海老谷高区配水池 | ②㉓ …塩津第1配水池 |
| ⑳ …赤沼配水池 | ②㉔ …塩津第2配水池 |
| ㉑ …鳥居配水池 | ②㉕ …塩津第3配水池 |
| ㉒ …藤本第1・2配水池 | ②㉖ …冷水低区配水池 |
| ㉓ …峠配水池 | ②㉗ …冷水高区配水池 |

図2-1 海南市水道施設位置図

2. 水道施設の概要

2-2 取水施設

取水施設は、水源から原水を取水するための施設です。海南水道事業は、紀の川の表流水より原水を取水しています。また、下津水道事業は、下津水源・加茂水源を保有しており、有田川伏流水・地下水より原水を取水しています。

表 2-1 取水施設の概要（海南水道事業）

取水施設名	水源	計画取水量 (m ³ /日)	備考
出島取水場	紀の川表流水	22,000	

表 2-2 取水施設の概要（下津水道事業）

取水施設名	水源	計画取水量 (m ³ /日)	備考
下津水源	有田川伏流水	9,800	
加茂水源	地下水（浅井戸）	1,641	



【紀の川取水口】（海南水道事業）



【有田川取水口】（下津水道事業）

2. 水道施設の概要

2-3 浄水施設

浄水施設は、取水した原水を浄水にするための施設です。海南水道事業の浄水施設は室山浄水場のみであり、1日で原水を浄水にできる水量を示す施設能力は21,500m³/日です。また、下津水道事業の浄水施設は下津浄水場、加茂浄水場の2施設であり、1日で原水を浄水にできる水量を示す施設能力は合わせて9,000m³/日です。

表 2-3 浄水施設の概要（海南水道事業）

浄水施設名	処理方法	施設能力 (m ³ /日)	備考
室山浄水場	急速ろ過	21,500	

表 2-4 浄水施設の概要（下津水道事業）

浄水施設名	処理方法	施設能力 (m ³ /日)	備考
下津浄水場 加茂浄水場	緩速ろ過 急速ろ過	9,000	



【室山浄水場】（海南水道事業）



【下津浄水場】（下津水道事業）

2. 水道施設の概要

2-4 送水施設（海南水道）

送水施設は、浄水場で作られた水道水を配水施設へ送るため、また、市民の皆様へ配るための施設です。海南水道事業の送水施設は下表の22箇所です。

表 2-5 送水施設の概要（海南水道事業）

送水施設名	規模・構造・数量
室山浄水場ポンプ棟	陸上ポンプ $\phi 150\text{mm} \times 5.1\text{m}^3/\text{分} \times 65\text{m} \times 90\text{kW}$ 4 台
冷水ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 100\text{mm} \times 1.2\text{m}^3/\text{分} \times 85\text{m} \times 30\text{kW}$ 2 台
且来ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 100\text{mm} \times 1.1\text{m}^3/\text{分} \times 70\text{m} \times 22\text{kW}$ 2 台
伏山ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 125\text{mm} \times 1.76\text{m}^3/\text{分} \times 62\text{m} \times 30\text{kW}$ 2 台
小野田ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 65\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{分} \times 65\text{m} \times 11\text{kW}$ 2 台
次ヶ谷ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 50\text{mm} \times 0.36\text{m}^3/\text{分} \times 60\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 2 台
藤白ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 65\text{mm} \times 0.35\text{m}^3/\text{分} \times 40\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2 台
大池ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 150\text{mm} \times 2.5\text{m}^3/\text{分} \times 80\text{m} \times 55\text{kW}$ 2 台 陸上ポンプ $\phi 100\text{mm} \times 1.0\text{m}^3/\text{分} \times 80\text{m} \times 30\text{kW}$ 1 台
つつじヶ丘ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 80\text{mm} \times 0.62\text{m}^3/\text{分} \times 105\text{m} \times 22\text{kW}$ 2 台
別所扱沢中継所	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 73\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2 台
別所低区中継所	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 99.4\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2 台
別所中区中継所	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 108.5\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2 台
別所高区中継所	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 70.6\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2 台
扱沢中継所	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 99.4\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2 台
東畑中継所	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.048\text{m}^3/\text{分} \times 152.8\text{m} \times 4.0\text{kW}$ 2 台
東畑高区中継所	陸上ポンプ $\phi 25\text{mm} \times 0.008\text{m}^3/\text{分} \times 85\text{m} \times 2.2\text{kW}$ 2 台
ひや水中継所	陸上ポンプ（海老谷低区用） $\phi 40\text{mm} \times 0.09\text{m}^3/\text{分} \times 125\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 2 台 陸上ポンプ（ひや水低区用） $\phi 32\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 80\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2 台
海老谷低区中継所	陸上ポンプ $\phi 25\text{mm} \times 0.06\text{m}^3/\text{分} \times 75\text{m} \times 2.2\text{kW}$ 2 台
海老谷高区中継所	陸上ポンプ $\phi 25\text{mm} \times 0.04\text{m}^3/\text{分} \times 85\text{m} \times 2.2\text{kW}$ 2 台
ひや水低区中継所	陸上ポンプ $\phi 25\text{mm} \times 0.024\text{m}^3/\text{分} \times 65\text{m} \times 1.1\text{kW}$ 2 台
ひや水中区中継所	陸上ポンプ $\phi 25\text{mm} \times 0.024\text{m}^3/\text{分} \times 87\text{m} \times 1.5\text{kW}$ 2 台
阪井ポンプ所	陸上ポンプ $\phi 100\text{mm} \times 1.2\text{m}^3/\text{分} \times 86\text{m} \times 37\text{kW}$ 3 台



【大池ポンプ所】（海南水道事業）

2. 水道施設の概要

2-4 送水施設（下津水道）

下津水道事業の送水施設は下表の23箇所です。
山間部へ水道水を届けるため、多くの送水施設が必要となります。

表 2-6 送水施設の概要（下津水道事業）

送水施設名	規模・構造・数量
下津浄水場ポンプ棟	陸上ポンプ $\phi 125\text{mm} \times 1.7\text{m}^3/\text{分} \times 70\text{m} \times 37\text{kW}$ 2台
	陸上ポンプ $\phi 125\text{mm} \times 1.9\text{m}^3/\text{分} \times 70\text{m} \times 37\text{kW}$ 2台
大崎第1ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 80\text{mm} \times 0.40\text{m}^3/\text{分} \times 90.8\text{m} \times 15\text{kW}$ 2台
大崎第2ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 50\text{mm} \times 0.6\text{m}^3/\text{分} \times 20\text{m} \times 2.2\text{kW}$ 2台
小畑第1ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.10\text{m}^3/\text{分} \times 179.7\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 2台
小畑第2ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.15\text{m}^3/\text{分} \times 95\text{m} \times 5.0\text{kW}$ 2台
鱈川ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.15\text{m}^3/\text{分} \times 147\text{m} \times 11\text{kW}$ 2台
沓掛ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.10\text{m}^3/\text{分} \times 85\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2台
丸田ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 50\text{mm} \times 0.35\text{m}^3/\text{分} \times 123\text{m} \times 15\text{kW}$ 2台
塩津第1ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 65\text{mm} \times 1.30\text{m}^3/\text{分} \times 24.5\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 1台
塩津第2ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 50\text{mm} \times 0.26\text{m}^3/\text{分} \times 50\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
塩津第3ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.048\text{m}^3/\text{分} \times 152.8\text{m} \times 4.0\text{kW}$ 2台
加茂浄水場ポンプ棟	陸上ポンプ $\phi 100\text{mm} \times 1.2\text{m}^3/\text{分} \times 65\text{m} \times 22\text{kW}$ 3台
青枝ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 32\text{mm} \times 0.048\text{m}^3/\text{分} \times 204.3\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
曾根田ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 65\text{mm} \times 0.25\text{m}^3/\text{分} \times 13.4\text{m} \times 15\text{kW}$ 2台
土井原ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.11\text{m}^3/\text{分} \times 95\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
興ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.15\text{m}^3/\text{分} \times 75\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
上出ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.15\text{m}^3/\text{分} \times 65\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
大窪第1ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.052\text{m}^3/\text{分} \times 100\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
大窪第2ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.052\text{m}^3/\text{分} \times 110\text{m} \times 5.5\text{kW}$ 2台
百垣内ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.023\text{m}^3/\text{分} \times 145\text{m} \times 11\text{kW}$ 2台
松尾ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.08\text{m}^3/\text{分} \times 138\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 2台
橋本ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 65\text{mm} \times 0.45\text{m}^3/\text{分} \times 80\text{m} \times 11\text{kW}$ 2台
峠ポンプ室	陸上ポンプ $\phi 40\text{mm} \times 0.10\text{m}^3/\text{分} \times 200\text{m} \times 11\text{kW}$ 2台



【青枝ポンプ室】（下津水道事業）

2. 水道施設の概要

2-5 配水施設（海南水道）

配水施設は、浄水場で作られた水道水を市民の皆様へ配るための施設です。
海南水道事業の配水施設は下表の28箇所です。

表 2-7 配水施設の概要（海南水道事業）

配水施設名	構造	有効容量(m ³)	池数	建設時期
室山第1配水池	RC造	2,740	2池	1959
室山第2配水池	RC造	1,800	2池	1972
冷水低区配水池	RC造	72	2池	1970
冷水高区配水池	RC造	500	2池	1997
藤白第1配水池	RC造	64	2池	1998
藤白第2配水池	RC造	100	2池	1981
鳥居配水池	RC造	72	2池	1973
大谷配水池	RC造	108	1池	1972
ニュー大谷配水池	RC造	88	1池	1972
伏山第1配水池	RC造	135	2池	1972
伏山第2配水池	PC製	716	1池	1972
且来配水池	RC造	340	2池	1982
小野田配水池	RC造	136	2池	1982
次ヶ谷配水池	RC造	191	2池	1995
大池配水池	PC製	1,400	2池	1995
つつじヶ丘配水池	PC製	300	1池	1995
別所中区配水池	RC造	84	2池	2008
別所高区配水池	RC造	42	2池	2008
扱沢配水池	RC造	70	2池	2008
東畑低区配水池	SUS製	72	2池	2006
東畑高区配水池	SUS製	12	2池	2007
海老谷低区配水池	RC造	18	2池	2005
海老谷高区配水池	SUS製	67.5	2池	2006
赤沼配水池	RC造	83	2池	2008
ひや水低区配水池	RC造	18	2池	2007
ひや水中区配水池	RC造	48	2池	2007
上谷配水池	SUS製	60	2池	2007
東部配水池	SUS製	1,800	2池	2015



【東部配水池】（海南水道事業）

2. 水道施設の概要

2-5 配水施設（下津水道）

下津水道事業の配水施設は下表の21箇所です。

表 2-8 配水施設の概要（下津水道事業）

配水施設名	構造	有効容量(m ³)	池数	建設時期
下津配水池	RC 造	980	2 池	1992
大崎配水池	RC 造	280	2 池	1984
小畑第 1 配水池	RC 造	30	1 池	1997
小畑第 2 配水池	RC 造	22	1 池	1962
小畑第 3 配水池	RC 造	29	1 池	1962
鯉川配水池	RC 造	99	1 池	1971
加茂配水池	RC 造	300	2 池	1973
塩津第 1 配水池	SUS 製	150	2 池	2017
塩津第 2 配水池	RC 造	50	1 池	1966
塩津第 3 配水池	RC 造	15	1 池	1970
青枝配水池	RC 造	62	2 池	1977
橋本配水池	RC 造	150	2 池	1977
曾根田配水池	RC 造	140	2 池	1978
土井原配水池	RC 造	5	1 池	1981
興配水池	RC 造	26	1 池	1982
上出配水池	RC 造	9	1 池	1982
大窪配水池	RC 造	79	2 池	1982
百垣内配水池	RC 造	54	2 池	1986
松尾配水池	RC 造	36	1 池	1989
潮見台配水池	SUS 製	510	2 池	2009
沓掛配水池	RC 造	39	1 池	1999



【下津配水池】（下津水道事業）

2. 水道施設の概要

2-6 管路（海南水道）

管路は、市内に全長約502kmが布設されており、海南水道事業の全長は約399km、下津水道事業の全長は約103kmとなっています。

海南水道事業の管路の内訳は、基幹管路である導水管・送水管・配水本管が合わせて、約67km布設されており、その他の配水支管が約332km布設されています。また、全管路延長の内、73.3%は口径100mm以下の小口径管路が布設されており、管種別では、ビニル管類が51.0%、次いでダクタイル鋳鉄管類が28.1%布設されています。

表 2-9 用途別管路延長（海南水道事業）

区分	延長(m)	構成比(%)
基幹管路（導水管・送水管・配水本管）	67,215	16.9
配水支管	331,670	83.1
全管路	398,885	100.0

表 2-10 口径別管種別管路延長（海南水道事業）

管種 口径(mm)	普通 鋳鉄管	ダクタイル 鋳鉄管類	鋼管類	ポリエチレン 管類	ビニル管類	その他	合計 (m)	構成比 (%)
～φ40	0	0	783	11,561	61,503	0	73,847	18.5
φ50～ φ75	917	13,128	189	37,509	94,292	93	146,128	36.6
φ80～ φ100	510	15,702	213	14,719	42,981	121	74,246	18.6
φ125～ φ200	5,151	62,538	165	813	4,314	0	72,981	18.3
φ250～ φ300	1,269	12,072	34	0	76	0	13,451	3.4
φ350～ φ400	0	4,471	0	0	0	0	4,471	1.1
φ450～ φ500	1,297	1,660	0	41	0	0	2,998	0.8
φ600～	0	2,639	591	0	0	7,533	10,763	2.7
合計(m)	9,144	112,210	1,975	64,643	203,166	7,747	398,885	100.0
構成比(%)	2.3	28.1	0.5	16.2	51.0	1.9	100.0	-

※導水管口径延長は、更新工事のため、平成 29（2017）年度実績値を集計

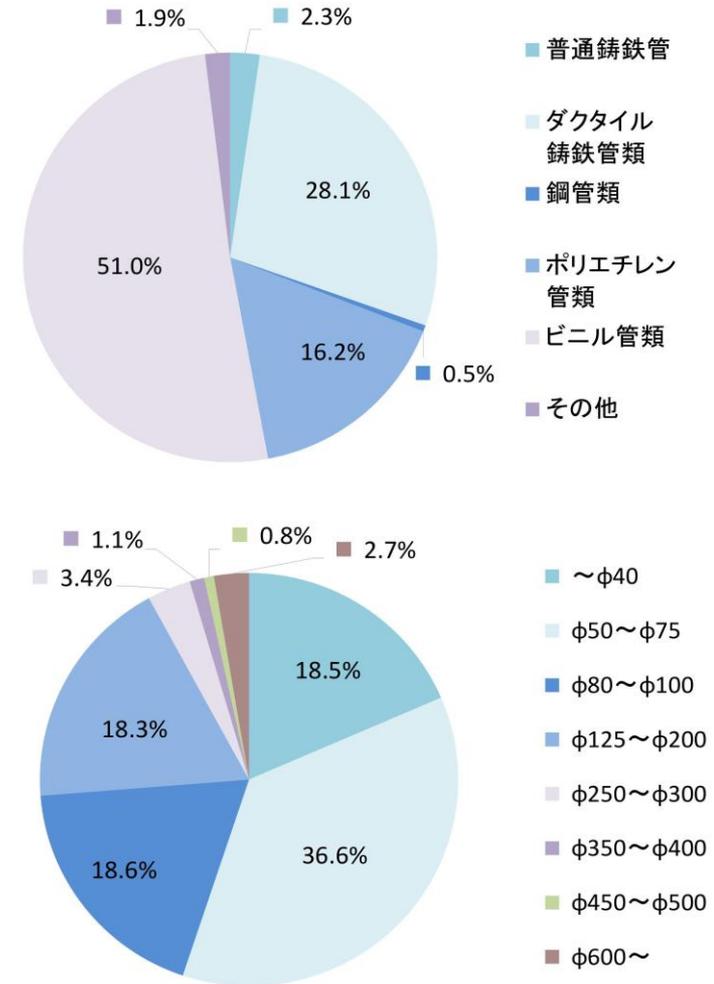


図2-2 管路情報の整理（海南水道事業）

2. 水道施設の概要

2-6 管路（下津水道）

下津水道事業の管路の内訳は、基幹管路である導水管・送水管・配水本管が合わせて、約36km布設されており、その他の配水支管が約67km布設されています。また、全管路延長の内、70.0%は口径100mm以下の小口径管路が布設されており、管種別では、ダクタイル鋳鉄管類が45.1%、次いでビニル管類が42.0%布設されています。

表 2-11 用途別管路延長（下津水道事業）

区分	延長(m)	構成比(%)
基幹管路（導水管・送水管・配水本管）	35,754	34.7
配水支管	67,226	65.3
全管路	102,980	100.0

表 2-12 口径別管種別管路延長（下津水道事業）

管種 口径(mm)	普通 鋳鉄管	ダクタイル 鋳鉄管類	鋼管類	ポリエチレン 管類	ビニル管類	その他	合計 (m)	構成比 (%)
～φ40	0	6	5	238	258	0	507	0.5
φ50～ φ75	253	11,799	1,607	6,199	28,868	666	49,392	48.0
φ80～ φ100	13	7,762	356	2,562	11,516	27	22,236	21.5
φ125～ φ200	39	23,767	139	567	2,563	11	27,086	26.3
φ250～ φ300	0	3,128	82	142	21	386	3,759	3.7
φ350～ φ400	0	0	0	0	0	0	0	0.0
φ450～ φ500	0	0	0	0	0	0	0	0.0
φ600～	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計(m)	305	46,462	2,189	9,708	43,226	1,090	102,980	100.0
構成比(%)	0.3	45.1	2.1	9.4	42.0	1.1	100.0	-

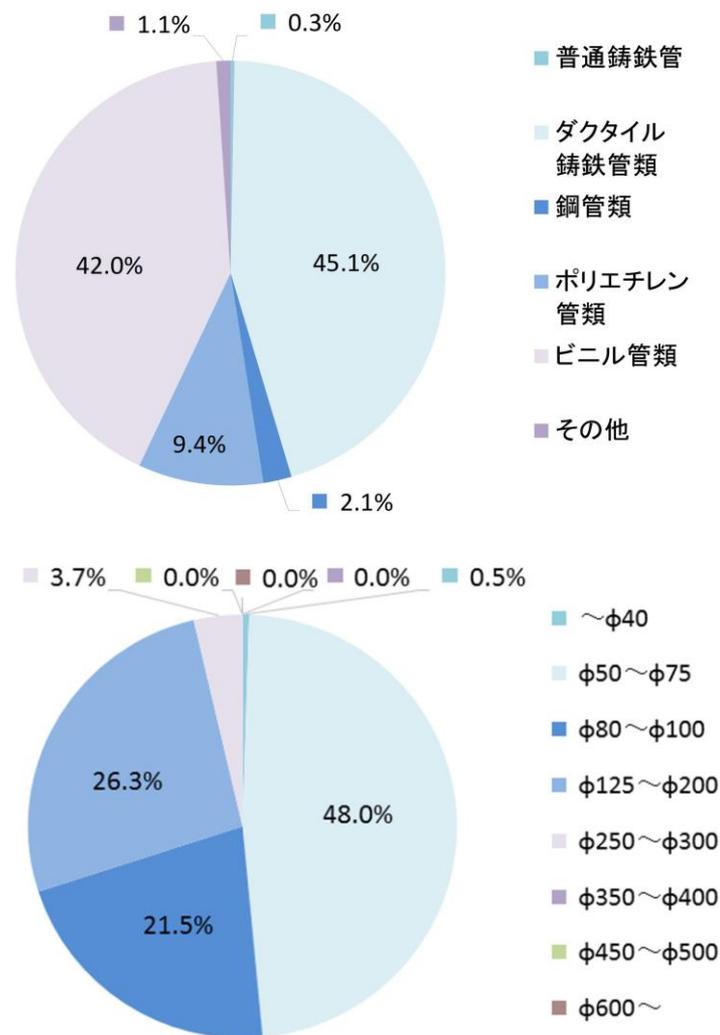


図2-3 管路情報の整理（下津水道事業）

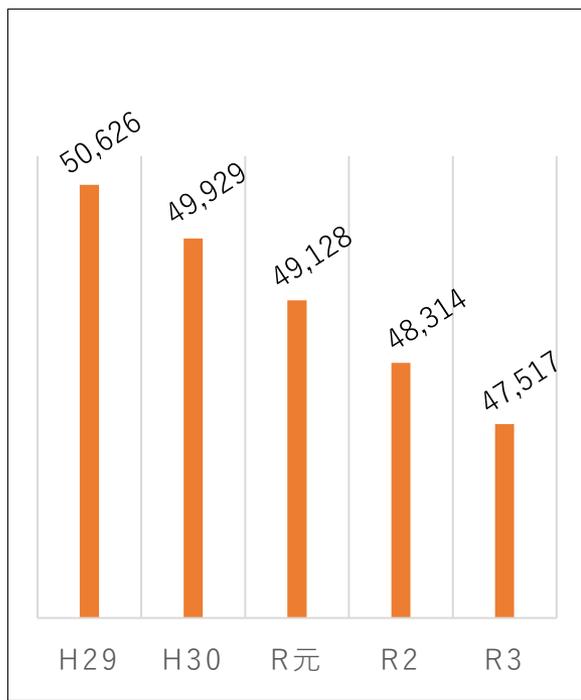
3. 水道事業の沿革・経緯

	海南水道事業	下津水道事業
創設認可	昭和32年2月23日	昭和30年8月23日
変更認可	平成24年2月20日 (第5次)	平成27年4月28日 (第12次)
計画給水人口	40,200人	13,800人
計画1日最大給水量	21,500m ³ /日	9,000m ³ /日
普及率	100%	99.1%
その他	4簡易水道事業を統合	—

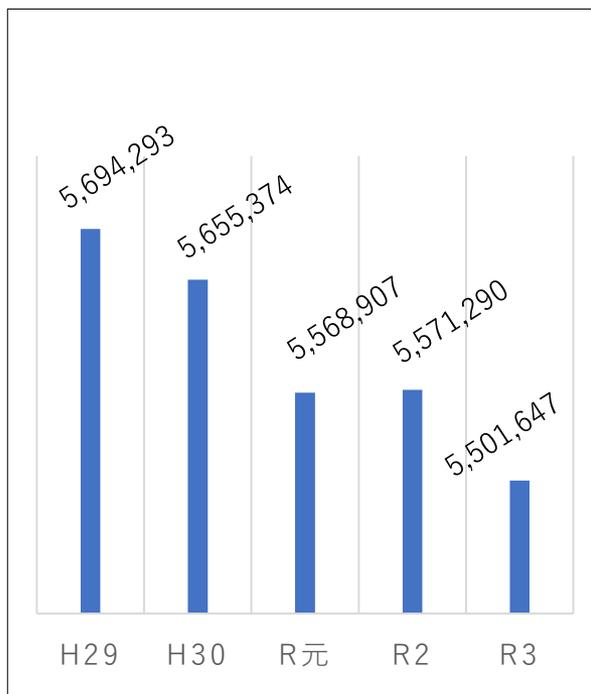
4. 給水状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給水人口	50,626人 (-)	49,929人 (▲1.4%)	49,128人 (▲1.6%)	48,314人 (▲1.7%)	47,517人 (▲1.6%)
給水量	5,694,293m ³ (-)	5,655,374m ³ (▲0.7%)	5,568,907m ³ (▲1.5%)	5,571,290m ³ (+0.04%)	5,501,647m ³ (▲1.3%)
給水収益	924,460,413円 (-)	919,754,441円 (▲0.5%)	904,422,634円 (▲1.7%)	902,870,565円 (▲0.2%)	896,994,584円 (▲0.7%)

※ () は対前年度比 (▲減)



給水人口 (人)



給水量 (m³)



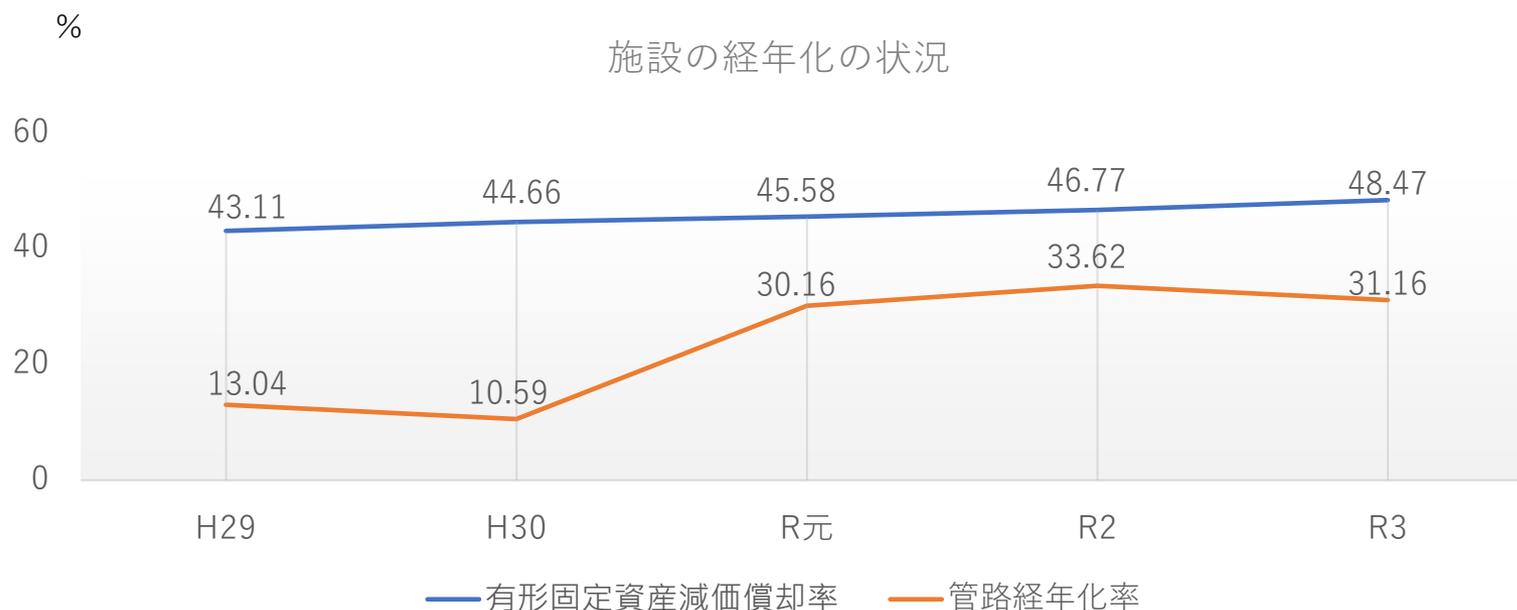
給水収益 (円)

5. 施設経年化の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設 ※1	43.11%	44.66%	45.58%	46.77%	48.47%
管路 ※2	13.04%	10.59%	30.16%	33.62%	31.16%

※1 有形固定資産減価償却率：有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。資産の老朽化度合いを示す。

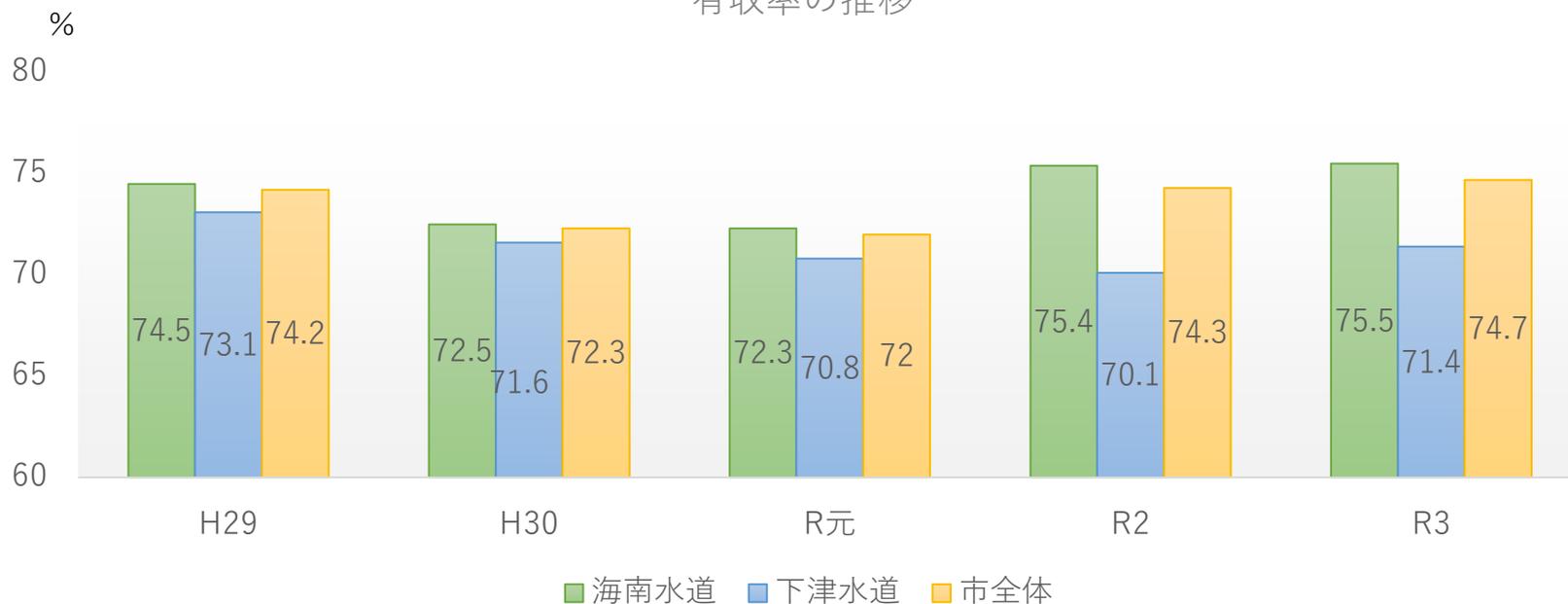
※2 管路経年化率：法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標。管路の老朽化度合いを示す。



6. 有収率の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
海南水道	74.5%	72.5%	72.3%	75.4%	75.5%
下津水道	73.1%	71.6%	70.8%	70.1%	71.4%
市全体	74.2%	72.3%	72.0%	74.3%	74.7%

有収率の推移



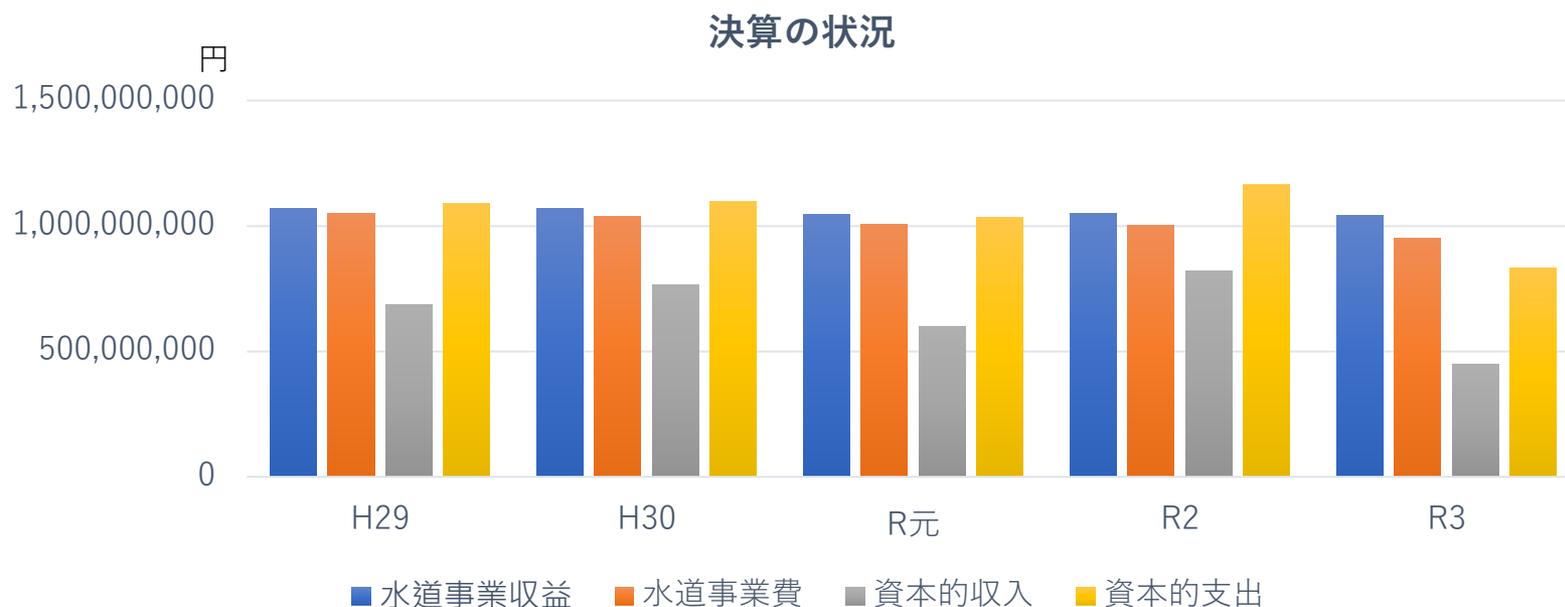
7. 事業計画（主要事業）

事業名	概算事業費	事業工期（予定）
紀の川導水管更新事業	43億円	平成27年度～令和6年度
出島水源地導水施設更新事業	10億円	令和3年度～令和7年度
基幹管路整備事業	3億円	令和4年度～令和6年度
海南下津相互連絡管布設事業	4億円	令和元年度～令和6年度
老朽管布設替事業	2.5億円／年	—
室山浄水場整備事業	56億円	令和8年度～令和15年度

8. 決算の状況

(単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
水道事業収益	1,072,204,631	1,069,630,819	1,046,326,741	1,050,233,829	1,043,258,339
水道事業費用	1,049,091,560	1,038,383,295	1,008,630,027	1,000,832,893	953,375,174
資本的収入	688,772,856	765,229,385	601,290,176	819,816,069	449,298,595
資本的支出	1,087,921,212	1,095,785,334	1,032,559,807	1,165,076,749	832,683,463



9. 水道事業の運営状況について

昭和30年代初期に水道事業認可

水需要の増加により事業拡張

水道普及率は、ほぼ100%

施設の更新改良に多額の費用が必要

財源の確保・事務の効率化等費用
節減の取組み

施設の経年化

施設の更新改良の需要が増
人口減少、節水機器等の普及

給水収益が減少傾向

近い将来資金不足の可能性

水道料金について検討

MEMO